

袖ヶ浦市史研究 (創刊号～第3号)

【閲覧用】

市史研究	表 題		執筆者
創刊号	【研 究】	・三黒の松見寺と仙石騒動	相楽 太素
		・神葬祭への集団改宗	斉藤 薫
		・幻の南蔵院	大木 雅
		・君津郡と市原郡の浦境および漁業権の推移	鈴木 信夫
		・三ツ作貝塚	石井 重雄
	【記 録】	・袖ヶ浦の上総掘り	山田 吉彦
	【資料紹介】	・タイムカプセル「赤い鳥」今帰る	麦野 ゆたか
		・上之総州望陀郡高谷郷総鎮守祝詞来由記	谷萩 藤嗣
	【調査報告】	・袖ヶ浦の遺跡立地とその分布について	井口 崇
		・「新撰袖ヶ浦姓氏録」(一)	多田 憲美
【随 想】	・私と郷土史	谷萩 藤嗣	
平成5年5月31日:発行			
第2号	【研 究】	・年貢米の輸送と湊 - 西上総の社会と文化(1) -	筑紫 敏夫
		・里見氏の西上総支配と民衆 - 葛田家文書の紹介 -	滝川 恒昭
		・鬼作左とお仙	石井 一雄
	【記 録】	・出羽三山道中記について	在原 不二男
		・上総五座の一 「飽富神社」略縁起などに就いて	深河 淳
	【資料紹介】	・南総八景	菱田 忠義
		・上総国望陀郡三箇村鎮守をめぐる氏子と旗本水上氏の動向について	實形 裕介
		・袖ヶ浦市域における八王子千人同心関係史料について	掘 亮一
	【調査報告】	・坂戸神社の森	藤平 量郎
		・たかくら道に沿って	多田 雄一郎
【随 想】	・私と郷土史	高崎 繁雄	
平成6年3月31日:発行			
第3号	【研 究】	・巡見使が野里村を通る	相楽 太素
		・二体のミニ妙見像と結縁の由緒	淵上 登美
		・近世袖ヶ浦市域にみる蔵書について - 進藤家・永嶋家の分析を中心に -	石山 秀和
	【記 録】	・袖ヶ浦から漁民の海が消えるまで - 長浦地区の変貌50年小史 -	渡辺 亀代二
	【民 俗】	・三ツ作の「おみかり様」	石井 重雄
		・禁忌	森竹 保次
	【資料紹介】	・三箇村光福寺の近世史 - 光福寺文書の紹介 -	外山 徹
		・民衆の見た戊辰戦争 - 「慶応四戊辰年新聞」の紹介 -	實形 裕介
		・『心の花』とふるさとの歌詠みたち	高崎 繁雄
	【調査報告】	・「新撰袖ヶ浦姓氏録」(二) - 名字と家紋から昔を尋ねる -	多田 憲美
・たかくら道に沿って(その二)		多田 雄一郎	
【人物紹介】	・明治の人・影山信一	谷萩 藤嗣	
【随 想】	・私と郷土史	菱田 忠義	
	・万葉植物散歩と袖ヶ浦	島村 道子	
平成7年3月31日:発行			

袖ヶ浦市史研究（第4号～第6号）

【閲覧用】

市史研究	表 題		執筆者
第4号	【研 究】	・近代における内湾塩業の展開と地域名望家の行動 －袖ヶ浦塩業と鳥飼家の行動を中心として－	落合 功
	【記 録】	・袖ヶ浦こぼれ話	和田 實
		・関東大震災の記憶 ・「満蒙開拓青少年義勇軍」	積田 喜久 石井 重雄
	【資料紹介】	・西上総ゆかりの鬼作佐の生涯 一本多作左衛門重次－	山田 伸男
	【調査報告】	・「新撰袖ヶ浦姓氏録」(三) 一名字と家紋から昔を尋ねる－	多田 憲美
		・袖ヶ浦の遺跡立地とその分布について －弥生時代から平安時代にかけての動態把握のために(二)－	井口 崇
	【随 想】	・私と郷土史	多田 憲美
【特別寄稿】	・「平岡村を偲ぶ会」について	谷萩 藤嗣	
			平成8年3月31日：発行
第5号	【研 究】	・不二心流中村一心齋と郷土袖ヶ浦	数馬 広二
		・旗本三嶋氏の明治維新(上) 一西上総の社会と文化(2)－	筑紫 敏夫
		・千駄林秣野について	斉藤 薫
		・近世の訴訟とその費用 一下泉村治右衛門一件を中心に－	鈴木 貢
	【資料紹介】	・軍事郵便にみる郷土兵の日清戦争 －原次三郎陸軍大尉の書翰から－	加藤 正三
	【調査報告】	・石に刻まれた文化交流 一石造物の寄進者名から－	石山 秀和 實形 裕介 外山 徹
		・袖ヶ浦の近世石工	萱野 章宏
・郷土を守り続ける大鳥居農業		永谷 大治	
【随 想】	・私と郷土史	石井 重雄	
	・川原井あれこれ	鈴木 六郎	
			平成9年3月31日：発行
第6号	【研 究】	・中世横田郷の地域景観をさぐる －明治廿八年「横田区之地図」から－	鈴木 哲雄
		・上総武田氏の基礎的検討	黒田 基樹
		・近世社会における土地所持権をめぐる一考察 －玉野村越石一件を例として－	落合 功
		・旗本三嶋氏の明治維新(下) 一西上総の社会と文化(3)－	筑紫 敏夫
		・旗本賄用人について －岩井村青砥(原)秀次郎を事例として－	石山 秀和
	【資料調査】	・深河元儁・江戸寓居時代の逸事	森田 保
	【調査報告】	・聞き書き重野十三郎	谷萩 藤嗣
・ふるさとの動物・植物と共に		麦野 ゆたか	
【随 想】	・かつての袖ヶ浦の海の記憶	渡辺 亀代二	
			平成10年3月31日：発行

袖ヶ浦市史研究（第7号～第8号）

【閲覧用】

市史研究	表 題		執筆者
第7号	【研 究】	・袖ヶ浦の鷹場 ―賄い負担をめぐる争論について―	馬神 祥子
		・西上総の与力給知に関する基礎的考察	實形 裕介
	【資料紹介】	・奈良輪村名主家と村人の生活	鈴木 貢
		・袖ヶ浦市域にみる在村文人について ―手習師匠・村医者・剣術家―	石山 秀和
		・幕末期の譜代小藩の財政政策 ―請西藩における積金惣潤講の紹介―	落合 功
	【調査報告】	・袖ヶ浦市の地名について ―大字名・錯綜地・最近の地名―	多田 憲美
		・勝呂姓について	勝呂 正男
		・袖ヶ浦市に生息しているチョウ類	大間 隆
		・中川小学区におけるヘイケボタルの生息調査	神子 一弘
		・袖ヶ浦の俳人脈とそのルーツを探る	在原 武夫
		・古老が語る神納の昔ばなし	関 巖
		・袖ヶ浦の動物の呼び名と民俗(上)	川名 興
	【新刊紹介】	・『袖ヶ浦市史 資料編2 近世』	鏑木 行廣
		・『袖ヶ浦市史 資料編3 近現代』	大豆生田 稔
			平成11年3月31日：発行
第8号	【研 究】	・伝統技術の亡失と社会の変貌 ―上総掘り職人からみる農村社会―	藤田 牧子
		・望陀布	大川 義行
	【資料紹介】	・ゾルゲ事件について ―鈴木富來遺稿集より―	高崎 繁雄
		・千葉県甲種食糧増産隊満州派遣隊末記 ―通称農兵隊々員の手記から―	谷萩 藤嗣
	【調査報告】	・旧神納村の屋号について	多田 憲美
		・袖ヶ浦の動物の呼び名と民俗(下)	川名 興
		・袖ヶ浦市に生息している野鳥 ―根形地区・長浦地区を中心として―	大間 隆
		・そでがうら『水の動物記』	前田 哉
		・戦後の「君津木更津剣連」の歩み	佐久間重男
	【人物紹介】	・先見の人・近藤弥三郎	山田 伸男
	【新刊紹介】	・『袖ヶ浦市史 自然・民俗編』 ―自然分野を中心に―	中村 俊彦
		・『袖ヶ浦市史 自然・民俗編』 ―民俗分野を中心に―	平野 馨
		・『袖ヶ浦市史 資料編1 原始・古代・中世』	梶山 林繼
			平成12年3月31日：発行

袖ヶ浦市史研究 (第9号～第11号)

【閲覧用】

市史研究	表 題		執筆者
第9号	【研 究】	・近世新義真言宗田舎本寺の門末支配の実相 －上総国望陀郡三箇村光福寺の場合－	植野 英夫 高木 澄子
	【資料紹介】	・江戸東京(湾)渡海の旅だより	高崎 繁雄
	【調査報告】	・下根岸・永島勝彦家に遺る欄間彫刻	安藤 道雄 篠田 智章
		・袖ヶ浦の歌よみたちと短歌の流れ	磯野 榮子
		・袖ヶ浦の植物の呼び名と民俗	川名 興
		・古老が語る神納の昔ばなし(2) 一付「昭和町農業変革記録」一	関 巖
		・望陀郡久保田村の開墾事業の考察	竹口 喜弘
		・「新撰袖ヶ浦姓氏録」(四)	多田 憲美
		・袖ヶ浦の野菜園芸	谷萩 藤嗣
	・君津柔道会五〇年の歩み	渡辺 達雄	
【資料解説】	・「諸国名所記」について	袖ヶ浦市郷土 博物館友の会 古文書解読会	
【実践報告】	・再考 郷土資料をいかに扱うべきか －課題は進んだのか? 歴史教員の呟き－	高崎 芳美	
【新刊紹介】	・『袖ヶ浦市史 通史編3 近現代』	中村 政弘	
			平成13年3月31日:発行
第10号	【調査報告】	・そでがうら『水の動物記』II ゲエロとアンゴの物語	前田 哉
	【研 究】	・近世後期における「領主的流通」の展開と木更津湊 －西上総地方における年貢米・松・薪輸送と船持ち－	落合 功
		・民衆の見た長州戦争 －岩井村原隆蔵の従軍日記を事例として－	實形 裕介
	【調査報告】	・宮ノ越貝塚の表面採集資料について	梅本 洋平
		・地名と名字、そして氏神様 ー自分の名字からの或る連想ー	多田 憲美
	【記 録】	・袖ヶ浦地名考 ー弟橘姫伝説を科学するー	光江 章
・袖ヶ浦市郷土博物館における史料調査合宿		東洋大学文学 部史学科渡辺 新ゼミナール	
【随 想】	・無手勝流村長・中村利雄の生涯	山田 伸男	
			平成14年3月20日:発行
第11号	【研 究】	・深河元儒の『房總三州漫 』の動植物方言と民俗	川名 興
	【調査報告】	・旗本たちの幕末維新 ー上総国望陀郡を中心にー	筑紫 敏夫
		・村の歴史をもう一度尋ねて(1)	多田 憲美
		・谷中の祭・谷中の葬儀(神葬祭)	島村 道子
			平成16年3月20日:発行

市史研究	表 題		執筆者
第12号	【研 究】	・上総国望陀郡奈良輪村名主鳥飼六右衛門妻 やすの『萬覚帳』と近世の「主婦権」 －「金銭出納帳」の考察を加えて－	横山 鈴子
		・袖ヶ浦地区の姓氏 旧飯富村・中山家系図の考察	岩上 紘
	【調査報告】	・村の歴史をもう一度尋ねて(二)	多田 憲美
		・深河元儒が『房総三州漫 』に記録したk子音脱落と今	川名 興
		・小櫃川物語	山田 伸男
	【資料紹介】	・童心の輝き 光りあう命 平岡小学校の児童詩 (1924年－1928年)	麦野 ゆたか
【調べ学習】	・幽谷分校のひみつ	鈴木 明日美	
【随 想】	・郷土の偉人 中山武三先生	石井 重雄	
平成17年3月25日：発行			
第13号	【市史編さん成果還元事業講演会】	第三回(平成十六年度)講演内容をもとに ・中世末から近世初頭の上総国新義真言宗教団の展開について	植野 英夫
		第四回(平成十七年度)講演内容をもとに ・行き倒れ考 －市内神納字坂戸越の「伊勢参り様」を手がかりとして－	小川 信雄
		第五回(平成十八年度)講演要旨 ・上総掘りの意義と特色	大島 暁雄
	【史料紹介】	・少禄旗本領主上原家から 上総国望陀郡奈良輪村名主六右衛門家への手紙 史料翻刻編年 史料原本校訂	横山 鈴子 横山 鈴子 宮地 正人
【調査報告】	・千葉県内のk子音脱落調査 －郷土誌などを中心として－	川名 興	
平成19年3月25日：発行			
第14号 袖ヶ浦市郷土博物館 開館25周年記念号	【報告 1】	開館25周年記念シンポジウム「房総と熊野をつなぐもの」 記念口演	
		・熊野歎心十界曼荼羅の絵解き	村主 堯春
		・「熊野」の山・川・滝・海 －信仰を醸し出した自然－	林 雅彦
		・房総の熊野信仰をめぐる展望と課題	桐村 久美子
		・東国熊野社領の景観 －『長寛勘文』と千葉県内の事例から－	笹生 衛
		・「海上の道」と中世の房総社会 －熊野神社・熊野信仰をもたらしたもの－	湯浅 治久
		・黒潮が伝える人・もの・文化	三石 学
		・パネル・ディスカッション 「東国の中の熊野」 コーディネーター パネリスト パネリスト パネリスト パネリスト	林 雅彦 桐村 久美子 笹生 衛 湯浅 治久 三石 学
	【報告 2】	市史編さん成果還元事業講演会 第六回(平成十九年度)講演内容をもとに	
		・袖ヶ浦市善福寺の阿弥陀如来三尊像について ・忘れられた寺社 －本山修験上総西組(一)－ 史料翻刻	濱名 徳順 宮本 敬一 高木 澄子
【資料紹介】	・貞応三年銘千葉県木更津市某寺蔵木造聖観音菩薩立像について	秋山 一雄	
平成21年3月25日：発行			

袖ヶ浦市史研究 (第15号～第17号)

【閲覧用】

市史研究	表 題		執筆者
第15号	【市史編さん成果還元事業講演会】	第八回(平成二一年度)講演会をもとに ・袖ヶ浦市山野貝塚について －千葉県貝塚研究におけるその位置づけ－	上守 秀明
	【調査報告】	・袖ヶ浦市のk子音脱落調査	川名 興
	【資料紹介】	・光福寺所蔵「諸大事集」－光福寺文書にみる中世の聖教その二－	植野 英夫
		・江戸時代末期の下泉村に発生した訴訟事件について	鵜野 貞夫
	・史・資料からみた上総掘り元祖・石井峯次郎と上総掘り職人たち(1)	渡辺 和子 能城 秀喜 高木 澄子	
平成23年3月26日:発行			
第16号	【市史編さん成果還元事業報告】	・木更津海軍航空隊基地・第二海軍航空廠と袖ヶ浦 第一章 木更津海軍航空隊基地・第二海軍航空廠の沿革 第二章 座談会 「木更津海軍航空隊基地・第二海軍航空廠と袖ヶ浦」 出席者:大久保 進、藤平 量郎、長島 義明	能城 秀喜 高木 澄子
	【研 究】	・奈良輪漁業共同組合史料より見た報国機奈良輪漁業号の献納 －その経緯と機種等の様々な相違について－	高木 澄子
	【調査報告】	・旧富岡村の動植物について ー大正三年と現在ー	川名 興
平成25年1月8日:発行			

第17号	【研究論文】	・袖ヶ浦の史料を中心に読み解く明治五年農具絵図の成立 －木更津県農具絵図の書上げ顛末－	榎 美香
		・中世後期、上総国の権現二社に奉納された鰐口をめぐって －新出資料の鰐口の紹介をかねて－	植野 英夫
		・袖ヶ浦市郷土博物館所蔵 応永十五年銘地蔵図像板碑の来歴について	野口 達郎
		・古墳時代前期首長墓の分布より見た君津地方の地域性	酒巻 忠史
	【調査報告】	・西上総における初期板碑について	谷島 一馬
		・横田郷遺跡の発掘成果と「横田郷」の再検討	桐村 久美子
		・『KAZUSA SYSTEM』の著者F.J.Normanの事績 その二 －日英両政府の記録を中心として－	高木 澄子
	【研究ノート】	・西上総地域における縄文時代早期の遺跡分布について	田中 大介
【随 想】	・書家・教育者 高澤南総(武雄)の人と書を探って	川名 興	
【基礎資料調査】	・袖ヶ浦の板碑	光江 章	
平成27年3月20日:発行			

袖ヶ浦市史研究（第18号）

【閲覧用】

市史研究	表 題		執筆者
第18号	【研究論文】	・栃木県鹿沼市賀蘇山神社について －袖ヶ浦市蔵波石井伸之家文書『奥州道中記』より－	横瀬 勝宣
		・水神下遺跡1号塚の鎮壇とその信仰	松本 勝
		・考古学から見た袖ヶ浦の板碑	倉田 恵津子
	【調査報告】	・神田遺跡出土人骨について	谷畑 美帆
		・「農具絵図」の画工 赤溪とは誰だったのか	高木 澄子
	【資料紹介】	・袖ヶ浦市内で採集された埴輪資料について	萩原 恭一
	【研究ノート】	・“地域学講座”の楽しみ －根形村の『郷土読本』をとおして－	井上 勝
		・四爪錨について	二宮 俊洋
		・袖ヶ浦にもあった養蚕業 －市民学芸員企画展「ふるさと袖ヶ浦－人・くらし・風景－」から－	小暮 國昭
	【随 想】	・『中川村青年会報』に見る青年たちの自己表現活動	大塩 達
【随 想】	・戦国大名里見氏雑感 －領国支配の観点から－	嶋津 敬	
			平成29年2月23日：発行

袖ヶ浦市史研究（第19号）

市史研究	表 題		執筆者
第19号	【研究論文】	明治時代初期、大教宣布運動下における深河氏の教導活動 －袖ヶ浦市郷土博物館所蔵史料から－	野崎竜太
		滝ノ口向台遺跡とその周辺 －小櫃川流域最古級の古墳と子持勾玉の出土地点について－	酒巻忠史
		東京湾アクアライン構想の変遷をめぐる一考察 －ネオ・トウキョウ・プランから読み解く東京湾アクアライン－	當眞嗣史
	【研究報告】	袖ヶ浦市の明治時代初期における石橋の構築材とその石材産地について	柴田 徹
	【研究ノート】	永吉台遺跡群西寺原地区出土の温石について	北見一弘
	【資料紹介】	ガラス小玉の製作技法について －袖ヶ浦市美生遺跡群第四地点の資料から－	實川 理
	【覚 書】	袖ヶ浦市坂戸市場に根づく三山講の起源と続く八日講について	岡田 康
	【随 想】	私の故郷は袖ヶ浦市・長崎県対馬市の人(阿比留氏)	麦野ゆたか
			平成30年12月20日：発行

袖ヶ浦市史研究（第20号）

市史研究	表 題		執筆者
	令和元年度企画展Ⅱ「幕末維新の西上総－おらがの慶応4年－」関連事業		
	西上総戊辰戦争サミット「語り継ごう戊辰戦争、その時の西上総」実施報告		
	脱藩大名・林忠崇の戊辰戦争		實形 裕介

第20号	【事業報告】	敗者へのまなざし 宮本栄一郎の「上総義軍」	宮本 敬一
		会津藩と飯野藩の戊辰戦争	河野十四生
		大多喜藩の戊辰戦争	高橋 覚
		ディスカッション「みんなで語る戊辰戦争、幕末維新」	
	【資料紹介】	記録された「横田戦争」袖ヶ浦市域の戊辰戦争の記録・聞き書きと吉堀家『戊辰日記』の紹介	桐村 久美子
	【研究ノート】	深河浅蔵の『名物實記』と故深河淳氏が調査した「深河浅蔵」の著書紹介	川名 興
	【資料紹介】	深河元儁著『深河元儁翁詠草』について(1)	桐村 久美子 高木 澄子
	【随 想】	稲荷山光福寺 仏像修覆・本堂改築奮闘記	石橋 忠
	【研究論文】	古墳時代前期首長墓の分布より見た君津地方の地域性(2)	酒巻 忠史
	【研究ノート】	袖ヶ浦市川原井地区に所在する仲ノ台遺跡で採取された縄文時代の遺物について	田中 大介
【研究ノート】	大型トンボの方言オンジョ考	麦野ゆたか	
令和3年2月26日：発行			